

令和2年度第1回防府市図書館協議会

日時：令和2年7月27日（月） 午前10時～午前11時

場所：防府市役所 1号館3階第1会議室

■出席者

（委員）藤村会長、安光副会長、廣森委員、原田委員、河村委員、新田委員、山崎委員、吉武委員、津田委員（計9名）

（事務局）江山教育長、能野教育部長、森川教育部次長、尾中教育総務課長、大野図書館長、御手洗図書館管理室長

■欠席者 山本委員

■傍聴者 なし

■議事録

○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「令和2年度第1回 防府市図書館協議会」を開催いたします。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第1項に、「会長は会議の議長となる」と定めておりますので、これからの会につきましては、藤村会長に議事進行をお願いいたします。

○議長

それでは、会議を進めさせていただきます。スムーズに運びますよう、御協力をお願いします。今回の会議につきましても前回と同様に、会議及び会議録につきましては、「公開」ということでよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

では、異議なしということで、「公開」で進めてまいりますので、よろしくをお願いします。

議事に入ります前に、図書館長から簡潔に臨時休館中のことについて、御説明をお願いします。

○館長

3月6日以降5月25日まで、臨時休館を2度行いましたけれども、その際の

図書館内での業務等について、簡単に御説明申し上げます。

まず、令和元年度中、3月の休館中でございますけれども、ちょうど3月の定例の蔵書点検の翌日から休館いたしましたので、引き続き蔵書点検、特に閉架書庫内の蔵書の点検を行いました。約27万冊余りの蔵書でございますけれども、それを1冊1冊点検していくという作業で、ほぼ3月は終わっております。

そして、開館したのもつかの間でございます、4月に入りましてから、再び2度目の休館を行いましたけれども、その2度目の休館中につきましては、書庫内の点検の中で、3月に点検出来ておりませんでした、和書の点検を、この休館中に行っております。その他、この4月からでは、図書はもちろんですが、布絵本やパネルシアター、CDケース、そうした物の修理、あるいは配架の方も少し変更させていただきまして、児童書の中の郷土コーナー、あるいは郷土資料の配架等の変更もいたしております。また、公民館に配置させていただいている地域文庫の整理、あるいは、休館中でも、何とか御利用いただけないかということで、御予約をいただきました本に限り、図書館入り口のエントランスホールでお引渡しをいたしました。また、移動図書館の方は、コース内におきまして、移動図書館車ではなく、公用車を使って同じく予約本の受け渡しをさせていただきました。それとは別に、子ども達が家庭での待機ということになりましたので、小学校の留守家庭児童学級を中心に団体貸出、本来なら館内に来ていただき選書していただくのですが、そちらの40冊の選書を図書館の職員が行いまして、交換をするというサービスもさせていただいております。約3か月にわたる休館ということで、皆様方には大変御迷惑をおかけしましたけれども、サービス再開後、感染対策に注意を払いながら、何とか業務を遂行している所です。簡単ですが、御説明を終わります。

○議長 ありがとうございます。

それでは「議題(1)令和元年度事業実施状況の評価について」、事務局から御説明をお願いします。

○事務局

資料1は、委員の皆様をお願いをいたしまして、提出していただいたコメントをまとめたもので、同じ内容のものは1つにまとめさせていただきまして、ある程度、要約いたしました。●は、課題として提示されたもの、○は、内容を評価していただいた部分でございます。◇は、図書館への要望、◎は質問、※はその他、としております。昨年度まではありませんでしたが、今年度◎と※の記号と内容を追加しております。

資料1につきまして、訂正箇所がございます。項目1の◇下から3番目、

「図書館年報の貸出利用統計表に月別の貸出利用者数、利用冊数が掲載される」との記述の後が「閉館」とありますが、正しくは「開館」です。申し訳ありませんが、訂正をお願いします。

もう1か所、A3の紙の裏面…項目5の○評価の1番上、「学校図書館とオンライン・ネットワーク・システム…」とある文章の最初を「学校図書館との…」に変更してください。

資料2は、図書館から提出された自己評価のそれぞれの大項目の最後のところに、図書館協議会の委員の皆様の見解を案として、事務局で皆様のコメントを要約したものを入れております。

それから、本日お配りしたものは、図書館の貸出状況の詳細等でございます。ここ3年間の利用状況の推移を表裏1枚の資料に、令和元年度月別利用冊数と利用貸出者数を片面1枚の資料にまとめておりますので、御参考にお使いください。

本日は、これらの資料を基に進めさせていただきます。

図書館の事業については、図書館長から項目のひとつひとつについて御説明を申し上げ、その後私の方から、意見案の御説明をいたします。7つの項目ひとつずつを交互に説明していき、御質問にお答えしながら進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○館長

皆様には、あらかじめ私どもの実施状況自己評価表を読んでいただき、コメントもいただいておりますので、ここでは令和元年度になって大きく変わった点を中心に御説明を申し上げるとともに、御指摘いただいた課題・要望等への対応についても触れてまいりたいと思います。

まず、お手元の資料2の、1ページ目の1—(1)ですが、①の資料収集業務について、当館では「防府市図書館資料収集要綱」に基づいて選書・収集を実施いたしておりますけれども、蔵書冊数は令和2年3月末現在で494,912冊となっており、今年度中には50万冊を超えることになりそうです。そのうち、郷土本については、購入・寄贈ともに目標を若干達成できなかったという反省がございますが、今後ますます、郷土資料についての情報収集に努めるとともに、郷土史及び郷土文学に造詣の深い職員を養成し、郷土資料の充実を図りたいと思っております。ただ、課題にもあげましたように、閉架書庫のおよそ95%はすでに埋まっており、今、およそ年間に約13,000冊のペースで蔵書が増

えているということからしますと、2年から3年後には書庫の方がほぼ満杯となってしまうことが予想されます。とは申しましても、安易な除籍もできかねますので、対策として、例えば永年保存としている新聞（朝日新聞・山口新聞）の保存期間の見直しなど、そういった抜本的な対策につきまして、教育委員会とも相談しながら、対応を検討していきたいと思えます。

また、②の資料分類・目録整備業務については、昨年10月発注分より、資料の分類を日本十進分類法新訂10版に切り替えましたが、特に業務に支障をきたすこともなく、スムーズな移行ができたように思えます。大きく変わったコンピュータ関係資料の分類については、0類への統一という趣旨を踏まえ、今現在は0類と5類に分散しておりますが、その資料の書架を0類の方へ、徐々に集中を進めていきたいと考えております。

続きまして2ページ目、1- (2) でございます。新型コロナ感染拡大防止のための臨時休館、先ほども申しました通り3月にごございましたが、例年ですと、開館日数303日から285日と18日減となり、入館者数が1日平均28人、館外個人貸出者数が1日平均9人、館外個人貸出冊数が1日平均46冊、いずれも減少となってしまいました。原因は、かねてより指摘されておりますように、青年・壮年層の読書離れ・図書館離れが進んでいることや、昨年ルルサス1階に高校生の自習スペースが実験的に置かれ、図書館を利用する高校生が流れたことなど、要因はさまざま考えられますが、今後ますますサービスの質の向上に努めますとともに、広報やイベントの内容を工夫するなど、利用者増につながる取り組みをしていきたいと思えます。ちなみに、令和2年度に入ってから、広報活動拡大のため、民間企業にもチラシの配布やポスターの掲示をお願いしましたが、さっそく7月からイベントのちらしを市内に10店舗を構えておられる「アルク」の方に置かせていただけるようになっております。

そして、④のサービス環境整備・安全対策・危機管理業務につきましては、御承知の通り昨年度は、上山翁の生誕150年記念の年ということもございまして、陳澄波の絵の展示等もございました関係で、それに向けて様々にやりましたが、具体的には、親子読書コーナーのカーペットの張替や、展示室の照明器具・絵画用展示ケースの交換など、サービス環境の整備に努めますとともに、防犯カメラ・夜間用センサーを設置して防犯体制を強化いたしました。また、安全対策といたしましては、8月15日に、台風10号の接近に伴い移動図書館車の運行を休止したほか、新型コロナ感染拡大防止のため、3月6日から3月26日までを臨時休館とし、サービス再開後も研修室・準備室・お話のへや等の閉鎖を行いました。

続きまして1- (3) でございますが、①の移動図書館車の運行につきまして

は、通常6コース37ステーションで運行しておりますが、臨時に地域のイベントに出向いての出張サービスも昨年度は7回、前年度が5回でしたので2回増えておりますけれども、実施いたしました。その臨時出張サービスについては、公民館に案内のポスターを配付するとともに、ホームページにも掲載して周知に努めています。

以上、大項目1についての説明を終わります。

○事務局

続けて、資料2の3ページの図書館協議会の意見の案について、御説明します。これは、各項目の順番で、意見を配列したものです。

[p.3 図書館協議会の意見(案)読み上げ]

皆様の御意見を伺いたいと思います。

○議長

ただ今の御説明に対して、質疑・御意見等あればお願いします。よろしいですか。

臨時休館中に、閉架書庫の全蔵書点検を実施されたということで、これは大変でしたね。

図書館年報の貸出利用統計表に、月別の貸出利用者数と冊数が記載されると、休館中と開館中の利用の状況が分かりやすくなると思います。

では、次をお願いします。

○館長

続きまして、4ページ目、2-(1)ですが、①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務については、「子ども読書フェスティバル」を5月26日に、「図書館まつり」を10月19日に開催しました。この2つのイベントについては、実行委員会やボランティアの皆様方との協働で実施したものでございます。

なお、「子ども読書フェスティバル」は、子どもの参加が少ないとの御意見をいただいたことから、令和元年度は絵本作家の岡本よしろうさんとともに「かおはめパネルをつくろう!」というワークショップを企画したところ、子どもの参加者も多く非常に盛り上がったように思います。

また、令和2年度の「第10回子ども読書フェスティバル」につきましては、5月24日に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いったん7月11日に延期いたしました。状況が改善せず、最終的には中止にいたしております。

また、2- (2) でございますが、①ボランティア活動推進業務につきましては、「防府図書館ボランティア連絡会議」を1月24日に開催いたしました。多くの提言がなされましたが、その中で、図書館で活動しているボランティア団体・生涯学習グループを広く市民の皆様を紹介することで、あらたなボランティアの育成につなげることが提案されました。そのことを受け、現在、団体グループの活動の概要をまとめた冊子を作成し、公民館やボランティア養成講座などで配布するための準備を進めております。年度内にはお手元にお届けできるのではないかと考えております。以上でございます。

○事務局

〔p.4 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

2- (1) ですが、「図書館に図書館に」と2度続いておりますので、ひとつ削除をお願いします。

○議長

質疑・御意見がございましたらお願いいたします。

新しい生活様式に沿ったイベントの開催ということが出ておりますけども、イベントの延期・中止が続いて、特に子どもたちはさみしい思いをしたのではないかと思います。新たな日常、新しい生活様式に沿ったイベントの開催はどういう風にしていくのかなと思うのですが、今お話の部屋は使えない状況ですか。

○館長

換気が十分にできないということで、現在、使用は止めております。ただ、森のくまさんや、おはなしでんしゃの2グループは、研修室を使ってお話し会等をやっていると思います。

○議長

ここまで気を付けないといけないのかなという思いもなくはないが、やはり十分に配慮して、実施しないといけないということなんだろうね。続いて、3番をお願いします。

○館長

続きまして5ページ目、3- (1) ですが、①のイベント・懇談会については、防府図書館ビブリオバトルを2回開催しました。2回目（11月9日）につ

きましては、市内の高校に働きかけてバトラーを募集したところ、2名の高校生が初めて参加してくれて、大いに盛り上がりました。なお、3月20日に予定していた第3回目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により、やむなく中止いたしました。また、「防府図書館利用者懇談会」を11月29日に開催しましたが、参加者は少なかったものの、図書館を運営していくうえでも非常に参考になりました。今後も、参加者を増やすための広報に努めてまいります。今年度については土日の開催も検討しております。

なお、その中で出た提案をもとに、令和2年度からは、高齢者を対象とした映画上映会、「月いちキネマ」と題しました新イベントを開催することにいたしました。残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未だに開催できておりません。10月くらいからはスタートできるのではと考えております。

○事務局

〔p.5 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

○議長

ここでも新型コロナウイルス感染症対策のための新しい生活様式に沿ったイベントの検討ということが出ています。これは第2次防府市図書館サービス振興基本計画のなかでも検討していくことになろうかと思いますが、実際にいろんなイベント等が中止になって、母親クラブはどうですか。新しい生活様式に沿ったイベントの開催について、何かお考えがありましたらお願いします。

○委員

母親クラブを開催しております私たちにとっても、各単位団体が行事をどのように新しく開催していくか、今までの行事をどのように続けていくかということで大変困っております。7月にも今年度初めて単位クラブの会長に集まってもらって協議したのですが、どうしたらいいんだろうという意見が多いです。また今年は今のところ行事をやっておりませんが、7月、8月、9月に各単位クラブが市内の公園の遊具の点検をすることにしております。これは、公園ということで、一応外で密にならないのでそれぞれ別れてやろうということになりました。市の方から依頼されておりました、合同家庭教育学級の託児も、大人はマスクをして託児をしますが、3歳以下の子どもたちはマスクの着用が難しいということで、託児の方はやらないということになりました。10月から始まります新入学児健康診断時の各小学校の託児も、子供たちのマスク問題があるため、中止になっております。

今、新しいことをどういう風に企画していくかということを理事の方で考えております。怖いと言っているは何もやっていけないので、皆さんのお力を借りていろんなことを教えていただき、新しい事業に取り組んでいこうと思っております。行事をしましても、密にならないように、ひとつのテーブルに1人ということで、今模索しております。どうすればいろんなことができるかということで、ある行事で缶バッジを作成しようと思っております。絵は離れて自分たちで書けますし、終わった後は、私たちが缶バッジを作成できます。あまり接触をしないような行事を考えております。皆様にもいいお知恵があったら教えていただいて、今後の取り組みにしたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長

では、4番をお願いします。

○館長

それでは続いて6ページ目、4-(2)でございますが、①上山満之進と三哲文庫顕彰業務については、市主催の「上山満之進生誕150年事業」の一環として、展示室で陳澄波の絵画「東台湾臨海道路」の展示を行いました。併せて、9月4日から11月11日の期間、ブラウジングコーナー壁面において、パネル展示「上山満之進生誕150年」を実施いたしました。

なお、今年度は三哲文庫が開館してから80年目にあたりますので、誕生日に合わせて9月2日から10月5日まで、ブラウジングコーナーでのパネル展示を企画いたしていますが、今後も毎年の誕生日に合わせた顕彰事業を実施していく予定です。ちなみに、三哲文庫開館80周年記念事業としましては、来年度早々に「防府図書館80年のあゆみ」という小冊子を刊行する予定で、準備を進めています。

○事務局

〔p.7 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

○議長

ただ今の説明・報告に対する質疑・御意見がございましたらお願いします。

参考調査業務で、郷土資料に関する質問に対して分かりにくいことを、例えばどなたか、史談会の方にお聞きするとか、関係機関に問い合わせをするいわゆるレフェラルサービスといったこともなさるといふことですね。

○事務局

レフェラルサービスは、参考図書カウンターで職員が他の機関に紹介する等の対応しております。

○議長

なければ5についてお願いします。

○館長

続きまして8ページ目、5- (1) ですが、①については、小教研や中教研の主催する研修会に参加して司書教諭との連携を図ったほか、昨年度から小学校11校に対しまして、選書会に使用する新刊書のリストアップや貸出を行いました。

また、5- (2) ですが、①他の図書館や文書館、博物館、美術館との連携業務につきまして、御承知かとは思いますが、美術館・博物館（ミュージアム）のM、図書館（ライブラリー）のL、文書館（アーカイブス）のAの、MLA連携と申しますけども、そうしたお互いの情報交換をネットワークを通じて行いました。

さらに、②については、防府市文化振興財団内の他機関と連携した資料展示やイベント参加を行うとともに、毎月1回連携部会会議を開催しまして、4館連携企画「アナザーワールド 防府でちょっと違った世界を見てみませんか」の立案を行い、令和2年4月スタートに向けて準備を進めてきました。ところが御承知の通り新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期せざるをえませんので、10月からはその企画を縮小して実施し、同時に4館のスタンプラリーを実施すべく現在準備を進めております。

○事務局

〔p.9 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

5- (2) に、防府市文化振興財団が、指定管理をしている他施設との連携したイベント実施は、評価できる。」という一文を追記してください。申し訳ありません。

○議長

協議会次第の下の方ですね。資料1.2ともに入れてくださいということですね。分かりました。

これが、文化振興財団が指定管理していることの特徴のひとつにもなりますね。

ところで、学校図書ボランティア・ネットはどのように活動されているのですか。

○委員

私たちも、会合が開けていません。普通6月にやるのですが、それを延期している状況です。全体をつかんでいるわけではないので確実なところではありませんが、読み聞かせは、ほとんどの学校が中止をしている状況です。やはり学校に外部の人間が入るといのはやはり躊躇している状況にあります。環境整備はやっている所はやっております。図書の修理とか飾りつけとか、そういうことは継続してやっている状況です。なるべく、子どもたちと接しない状況で進めている状況だと思います。

○議長

本当に不自由な状況になっていますね。

休校中に学校の図書館を、例えば学童保育の子どもたちに利用させたりとかそういうことはありましたか。

○事務局

休校中に学童保育でお預かりしている子どもたちを見ていただいている先生が、数名連れてこられて、各自広がって本を読ませり読み聞かせを聞くというはあったとは聞いております。学校司書はお休みをしてなかったので、勤務している学校司書が対応しているところもあったようです。

○議長

学校司書の方は休校中も出勤されてたのですか。

○事務局

はい、しておりました。

○議長

では、6番をお願いします。

○館長

続きまして10ページ目、6- (1) でございますが、①については、子どもたちに読書活動への興味関心をもってもらおう企画といたしまして、イオン防府店で毎月第3日曜日（家庭の日）に「おはなし会」を開催したり、「子ども家

庭支援センター海北」で絵本の読み聞かせ会を開催したりと、職員による出張サービスを行いました。今後も要望があれば出かけてまいります。また、図書や図書館への理解を深めるとともに、職業について学ぶ機会として、小学生対象に「子ども図書館員」、中高生対象に職場体験を積極的に受け入れてまいりました。

なお、職場体験者数が199人と突出しておりますのは、防府商工の生徒の皆さん164名が、2日間にわたりまして書棚の清掃業務に参加していただいたため、特別に増えております。さらに、防府市教育委員会と開催しました「図書館を使った調べる学習コンクール」につきましても、コンクールへの参加者を対象に、「調べる学習にチャレンジ」と題して、調べる学習の進め方とまとめ方について、夏休み中の土曜日と月曜日（9日間27コマ）に職員が個別にアドバイスしました。その甲斐あってか、全国コンクールに出品された2作品が、いずれも奨励賞を獲得できたというのはなによりでした。

ところで、小中学生対象の企画に比べると、高校生対象の企画がほとんどないようですが、3-（1）-①で御説明しましたように、11月9日に開催しました第2回ビブリオバトルでは、市内の高校に働きかけてバトラーを募集し、初めて高校生2名の参加がありました。毎年1月には、「本の甲子園」と銘打って全国大会も開催されておりますので、今後も高校生や中学生のバトラーを募っていく予定でございます。

○事務局

〔p.10 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

○議長

質疑・御意見がございましたらお願いします。

図書館は、子どもに読書に楽しさを伝えることが基本ということで、読書はイコール学習・勉強ではないということかと思えますけども、子どもたちは知る喜び、分かる喜びというものがあるわけです。図書館は読んで借りる所、読書センター機能の認識が強いのですけれども、学習センター機能それから情報センター機能といった、情報活用能力の育成ということも重視されています。例えば子ども読書フェスティバルの時にお願いいただいた元青山学院女子短期大学の堀川先生が言われていたのですが、アメリカでは、図書館は何する所と聞いたら、「調べる所」と答えるそうですね。日本はどうしても「読む所」という認識が強いので、そういった面も理解していただければと思います。調べる過程が楽しく感じられるということはもちろんですね。

今年も調べる学習コンクールは一応実施するようですが、各学校で、自由研

究や読書感想文については対応がまちまちなんでしょうか。

○委員

各校で考えてあるとは思いますが、今年は10日間しか夏休みがございませんし、まず授業を追いつくことが大事なので、無理をしないようにという風にはしております。

調べる学習コンクールや感想文も、案内はします。やはりそれを目指して頑張っている子もいますので、その子たちの参加意欲はそのまま育んでいきたいと思っております。

○委員

中学校も同様です。4、5月の臨時休業中に読書感想文を家庭学習の課題として出した学校もあります。夏休みに限らず長いスパンで興味のある者がしっかりそういう場を活用できるように指導しております。

○議長

ありがとうございます。それでは最後に7番をお願いします。

○館長

それでは続きまして、11ページ目、7ー(1)ですが、①につきまして、視覚障害者用音声付インターネットサービスについて周知するため、リーフレット「防府図書館障害者サービスのご案内」を作成しまして、ホームページ上でも紹介しました。その音訳版が、ボランティア「翠の会」の皆さんによって10月に発行され、受贈した資料を図書館資料として登録しますとともに、市内の公民館等へも配付いたしました。ところが、この件が「実施評価表」にも「図書館年報」にも記載されておりません。この場をお借りしましてお詫び申し上げますとともに、改めて御報告させていただきます。

なお、聴覚に障害をお持ちの方に対しましては、手話によるサービスが提供できればよいのですが、障害者サービスに関する研修会には職員も参加してはいるものの、なかなか手話通訳できるまでの成果はあげておらず、実情では筆談で対応しているところがございます。

また、(2)の①につきましては、リーディングルーペやリーディングトラッカー、助聴器などを導入しておりますが、郵送貸出や対面朗読サービスも含めてまだまだ利用が少なく、今後さらに広報に努めてまいりたいと思います。

なお、高齢者へのサービスということでは、初めての試みということで、牟礼公民館のシルバー教室に出張し、職員によるブックトーク、読み聞かせを実

施しました。

○事務局

〔p. 11 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

○議長

7- (1) の厳しい立地条件とは、どういったことでしょうか。

○事務局

7番の大項目は、障害者や高齢者に優しい図書館となっているのですが、それに対して、図書館がルルサスの3階であり、駐車場から離れている等、なかなか厳しい立地条件という意味だと事務局の方では判断いたしました。

○議長

書かれた方、補足がありましたらお願いします。

それから、6行目の、ルルサス1階の空きスペースを、図書館の案内スペースに出来ないかとあります。それと、ルルサス南側から見える図書館の表示の設置を要望と書かれているのは、教育委員会に検討を望むということですか。

○委員

まだ図書館が分かりにくいとおっしゃる方が多くおられます。また3階ですし、看板等も北側の道路からしか見えないので、南側のイオンの方からやって来た方にも、あそこに図書館があると気づいていただきたいと思います。それは何度もお願いしているのですが、何とかならないかなと思いました。

予算的な問題もあると思いますが、空きスペースについても、図書館がここにあることが分かる、小さなパイロットスペースのようなものにできると、行ってみようかということになると思います。1階を歩いてみても、南側のルルサス広場からはあまり図書館があるように見えない、分からないというのがとても残念だなと思いました。

○議長

教育委員会として、御検討お願いするということでよろしくお願いします。

7番まで済みましたが、全体を通して御意見を言われていない方、何かございましたらお願いします。

○委員

子どもたちの健全な育成を図ることを目的とした会に所属しているのですけれども、その事業を進めるにあたって、大人のあり方が問題になっております。今頃は、家庭や地域に青少年育成の課題があるのではないかということで、家族の絆、地域の絆の希薄化が進む中でも、それらを何とか昔のような方向に戻すよう、取り組んで行くことが大切だろうと思っております。各校区に、青少年育成の地域の協議会というものがあり、特に「家庭の日」の運動の推進をメインにそれぞれの地域で取り組んでいただいております。その中で図書館が、第3日曜日の「家庭の日」にイオンでおはなし会を開催していただいているというのは、とてもありがたいと思っております。今後とも、いろんな場所でいろんな団体が「家庭の日」の運動を推進できるといいなと思います。さらにこの運動に関わる人や、参加する人が増えることを願っております。

○委員

しっかり読ませていただきました。お伺いしたいのが、評価基準がABCの3つしかないんですね。これだけの図書館活動をされていて、私はどちらかというともう少し評価を上げていいのではないかという意見を出しました。評価基準の問題で、例えばB+などを入れて5段階にするように、次回はできないのかなと思いました。

○議長

御検討ください。最後にその他、事務局からお願いします。

○事務局

今回の第1回目の会議を踏まえまして、事業の実施状況の評価をホームページで公開したいと思っておりますので、この後お気づきの点等がございましたら、事務局までお知らせいただければと思います。

それから、今回の会議では、図書館の令和元年度の評価を御協議いただきましたが、第2回は、来年2月ごろの開催を考えております。第2回目では、来年度の図書館事業について御説明をする予定にしております。

今回の事業の説明の中でも、今年度予定していることや実際に実施していることを、多少説明いたしました。コロナ等で難しい面も多々ありますけれども、今回の評価を踏まえて、今年度の行事に反映できる部分は反映して、今年度ですぐに対応できないところにつきましては、次年度令和3年度の事業計画の作成の時に反映できるように検討していく予定でございますので、よろしく

お願いいたします。

○議長

本日は、令和2年度の第1回目の会議ということで、令和元年度図書館事業の実施状況について説明を受け、点検評価について協議を行いました。新型コロナ禍で厳しい状況ではありますが、防府図書館が、今後ますます市民にとって魅力ある、役立つ施設となることを期待しております。これをもちまして、本日の議題等については、すべて終了しました。